

リオン式 ★  ゾーントレード

マシンガン ハントFX

Machinegun Hunt FX

オフィシャルガイドブック



～準備編～

チャート構成と
朝のルーティン

1 チャート構成

リオン式チャートの各 MA の数値や内容を解説します。

チャート構成の解説で使っている用語

- SMA** Simple Moving Average
 単純移動平均線。過去ローソク足「〇本分」の終値の平均値を描画。今表示してる時間足の平均値なので時間足ごとに描画位置が変化。
 (例) 1時間 20SMA = 1時間足で見た過去 20 本分の終値合計 ÷ 20
- MTF** Multi Time Frame
 異なる時間足チャートの SMA を、今の時間足のチャートに表示。4 時間足 SMA を MTF で 1 時間足に表示…のように軸の時間足を固定するので、どの時間足で表示しても同じ位置に描画される。
 軸時間足の下位で MTF で表示するとカクカクの線になる。

執行時間足

実際にエントリーをする時や利確タイミングを計る時に使う時間足。「リオン式」でトレードする場合の**執行時間足は「5分足」**を使用。

※ リオン式では、5分足以外の「日足」「4時間足」「1時間足」等の環境認識がより重要。上位足の状況を認識した上で5分足でトレードします。

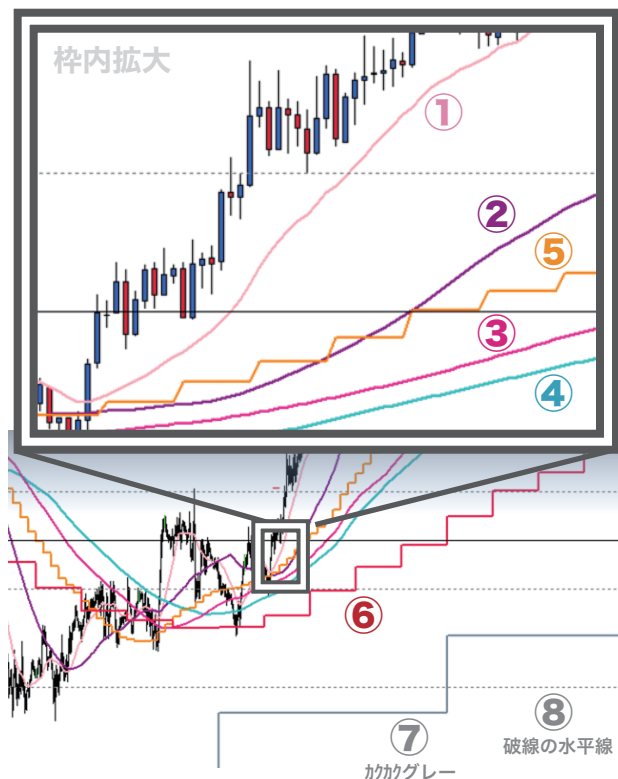


チャート内 MA 等の意味



チャート内の SMA の意味をまとめると次のとおり↓

リオン式チャート「SMA&MTF」の意味



① 薄いピンク	※1 20 SMA	表示してる時間足 20 本足分の終値の平均値。表示時間足で描画位置が変化。
② 紫	75 SMA	表示してる時間足 75 本足分の終値の平均値。表示時間足で描画位置が変化。
③ 濃いピンク	200 SMA	表示してる時間足 200 本足分の終値平均値。表示時間足で描画位置が変化。
④ 青	240 SMA	表示してる時間足 240 本足分の終値平均値。表示時間足で描画位置が変化。
⑤ かか オレンジ	※2 4時間 20 SMA	4 時間足の 20 本足分の終値の平均値。4 時間足以外で表示すると MTF に。
⑥ かか 濃い赤	※2 日足 20 SMA	日足の 20 本足分の終値の平均値。日足以外で表示すると MTF に。
⑦ かか グレー	週足 20 SMA	週足の 20 本足分の終値の平均値。週足以外で表示すると MTF に。
⑧ 破線の水平線	ラウンドナンバー (キリ番)	破線の水平線 部分。 100pips 毎のラウンドナンバーを表示

※1 : 4 時間 / 日足表示では、かか20SMA と同数値なので薄ピンク線はかか線下に隠れて見えません。
 ※2 : 4 時間 / 日足表示では、MTF と同じ時間足になるとかか線ではなく滑らかな線で描画されます。

2 朝のルーティーン

トレードを開始する前に、リオンがやっている「朝のルーティーン」とエントリー例を紹介します。


トレード開始前にやること

- ・ 1 時間足 → 4 時間足 → 日足 と上位足をチェックして「環境認識」をする。（前日や直近の動きを確認）
- ・ 5 分足に戻してエントリー準備をする。 以下↓ その流れ。

環境認識のやり方例

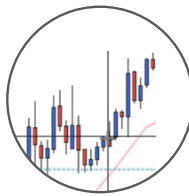
『 2019年12月5日 GBPAUD 早朝 8時付近 』エントリー前にやった内容。

1
時間足




A 日足ミドル (20SMA) とキリ番の合致から上昇し始めている。

B 前日付近の位置。1 時間 20SMA に乗って上に上昇している。

C  キリ番によって当日開始。直近 2 日は上昇傾向だった。

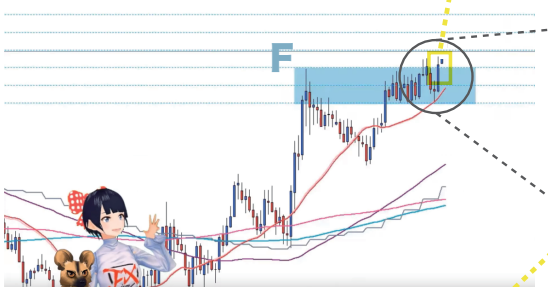
4
時間足



D 何度もヒゲになって、ショーターが頑張った後が伺える。

E キリ番を下に抜けることができず、上げてからのスタートだった。

日足




F 日足のチャートをベースにしてボックスを書いてみたエリア。

3日 日足ミドルとボックス下限合致で上昇

4日 2つのキリ番を1本の足で抜けて上昇

5日 キリ番より上でトレード開始する状態

5
分足



※ボックスの意味：レンジになってそうな箇所を見つける視覚的な補助。ボックスに正解はなく、大体で描く。重要なサボレジライン等の方が重要で、その付近のレンジを視覚化するイメージ。

日足で見ると「1 本の上ヒゲだけ」に見えたが、5 分足で拡大して見るとボックス上限 (Ⓢマーク付近) で、何度も跳ね返されていることが分かる。

何度も下抜けをチャレンジしたが抜けられずに、キリ番を「ジャンプ台」にして、徐々にレートが上がってきている状態。

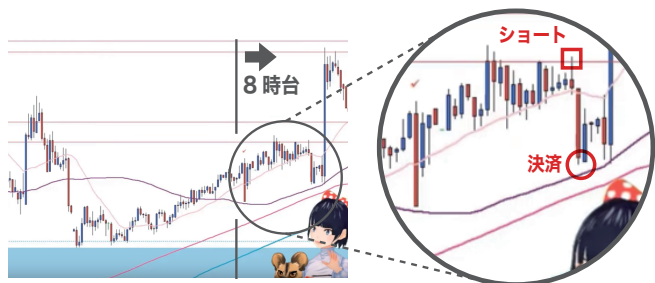
12月5日の8時台はチャート右端もみ合っている辺り。当日の監視は、この辺りのポイントからスタート。

3 エントリー 事例

「環境認識」後のチャート (2019年12月5日 GBPAUD) を使って、実際のエントリー例を紹介します。

実際のエントリー 例 その1

8時頃から監視して最初のエントリー



解説

黄色付近。3回ほど水平線にタッチしヒゲ陰線が出た所でショートエントリー。

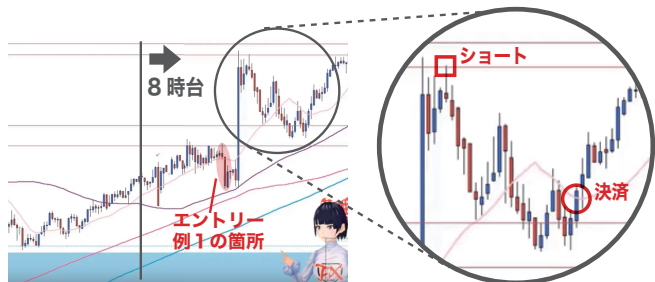
直近安値を切り上がってしまったので決済。

全SMAが上向き。9:30にオージー指標発表と、長く持ち続けられる根拠がない。なので危ないと思ったらすぐ逃げるべき所。

(ちなみに9:30指標は約55pips上昇。切ってないと大怪我。)

実際のエントリー 例 その2

9:30の指標発表後のエントリー



解説

何度か上ヒゲが出ていたので、指標発表後にショートエントリーした場合。

エントリー後、何に注意すべき？

A 過去チャートから**緑色水平線**が引ける。上値抵抗線の可能性があり指標で抜かれた後 **サボレジライン**に変わるかも。

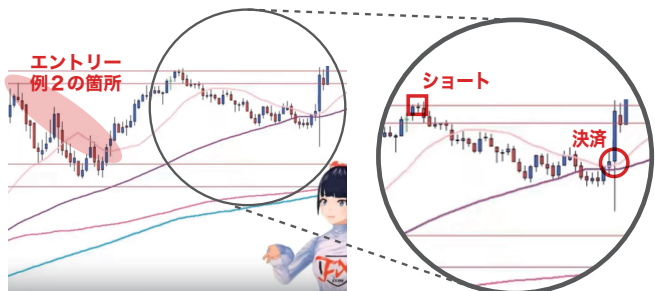
B 引いておいた**水平線**に近づいてきた。サボレジ転換か？と考えると…「下抜けは難しいかも」と警戒すべき。

C **水平線**を下抜けしたように見えたが、その後、**ダブルボトム**のような形に。そこで**水平線**戻しの時点で逃げる。



実際のエントリー 例 その3

さらに、その後の展開でのエントリー



解説

「エントリー例2」の高値を少し超えた小さめのピンバーでエントリーした時。**20SMA**を抜け後も警戒すべき所がある。

20SMAと**75SMA**の合致が危険箇所。しかも**大きな下ヒゲ**も出現し、なお危ない。よって、この辺りで決済して逃げておく。



事例のように、「リオン式」では、MAが上向きチャートであってもチャンスうまく見つけてショートエントリーができるのが特徴。